

高知がん診療連携協議会 緩和ケア部会 P D C A サイクル

目的：高知県における緩和ケアの質の向上と均てん化を図る

活動計画

1. 緩和ケア提供体制の調査

目標：高知県における緩和ケア提供体制の現状を踏まえ、今後の緩和ケアの対策について検討するため、県内のがん診療連携拠点病院・がん診療病院等における緩和ケア提供体制の実態把握を行う。

調査対象

- ・都道府県がん診療連携拠点病院：高知大学医学部附属病院
- ・地域がん診療連携拠点病院：高知医療センター
高知県立幡多けんみん病院
- ・がん診療連携推進病院：高知赤十字病院
国立病院機構高知病院
- ・がん診療病院：高知県立あき総合病院

調査内容

- ・日本緩和医療学会による緩和ケアチーム登録を参考に、高知がん診療連携協議会緩和ケア部会で検討した項目

実施予定期間

- ・2019年1月～3月（2017年度のデータ）

2018年12月作成

PDCAサイクル実施状況報告書

施設名: 高知大学医学部附属病院

高知がん診療連携協議会 緩和ケア部会PDCAサイクル

目的: 高知県における緩和ケアの質の向上と均てん化を図る

	項目	課題の内容	目標	目標達成の検証方法	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
1	緩和ケア提供体制の調査	緩和ケア提供体制の質向上	高知県における緩和ケア提供体制の現状を踏まえ、今後の緩和ケアの対策について検討するため、県内のがん診療連携拠点病院・がん診療病院等における緩和ケア提供体制の実態把握を行う。	日本緩和医療学会による緩和ケアチーム登録を参考にした評価項目を用いてピア・レビューを実施	ピア・レビューの実施	1. 高知大学訪問: 2019年1/21 2. 医療センター訪問: 2019年2月 3. 幡多けんみん病院: 2019年3月 4. あき総合病院 5. 赤十字病院 6. 国立高知病院		

	質問項目	回答欄
施設概要	施設名	()
	病床数	() 床
	年間総退院患者数	() 人
	年間がん患者退院数	() 人
	がん患者割合	() %
緩和ケア外来	緩和ケア外来	あり なし
	開設 曜日・時間	月・火・水・木・金・土・日 : ~ :
	外来緩和ケア管理料	あり なし
緩和ケアチーム	緩和ケア病棟	あり なし
	病床数	() 床
	緩和ケア病棟入院料	あり(入院料1・入院料2) なし
	緩和ケアチーム	あり なし
チームメンバー	チーム名称	()
	緩和ケア診療加算	あり なし
	身体担当医	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人
	精神担当医	分野: 内科() 人 外科() 人 その他()
	看護師	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人
	専門看護師	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人 分野: がん() 人 精神() 人 その他()
	認定看護師	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人 分野: 緩和ケア() 人 疼痛() 人 がん化学療法() 人 その他()
	薬剤師	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人 分野: がん専門() 人 がん薬物療法認定() 人 緩和薬物療法認() 人
	MSW	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人
	臨床心理士	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人
	リハビリテーション専門職種	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人 職種: PT() 人 OT() 人 ST() 人
	管理栄養士	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人
	歯科医	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人
	歯科衛生士	常勤の専従() 人 常勤の専任() 人 常勤の兼任() 人 非常勤() 人
	その他の職種	()
チーム活動	対応日数	() 日/週
	回診	() 回/週
	カンファレンス	() 回/週
	年間依頼件数	() 人
	がん	() 人
	非がん	() 人

	質問項目	回答欄	
緩和ケア外来の対応	他施設からの紹介	対応: あり 対応日・時間:	なし
	患者・家族自身での受診	対応: あり 対応日・時間:	なし
	対応窓口	()	
緩和ケアチームの対応	他施設からの相談	対応: あり 対応日・時間:	なし
	患者・家族からの相談	対応: あり 対応日・時間:	なし
	対応窓口	()	
緊急緩和ケア病床(入院対応)	他施設からの紹介	対応: あり 対応日・時間:	なし
	患者・家族自身での受診	対応: あり 対応日・時間:	なし
	対応窓口	()	
チーム依頼	依頼方法(医師以外からの依頼)	あり なし	
	依頼書	あり なし	あれば訪問時に供覧
	緩和ケア実施計画書	あり なし	あれば訪問時に供覧
スクリーニング	スクリーニング	外来 入院	
	用紙	あり なし	あれば訪問時に供覧
	実施方法		あれば訪問時に供覧
	データ管理		あれば訪問時に供覧
教育活動	対象者	院内 院外 その他()	
	頻度	定期 不定期	回/(週・月・年)
	内容	()	
地域緩和ケア連携活動 (症例検討会・情報交換会など)	対象者(特定の地域があれば記載)	()	
	頻度	定期 不定期	回/(週・月・年)
	内容	()	
ACPの取り組み	院内統一の方法や書式	あり なし	
	研修会(対象者)	院内 院外 その他()	
	(頻度)	定期 不定期	回/(週・月・年)

情報提供・相談支援部会 報告

1 情報提供・相談支援部会 開催（議事録参照）資料4-1～資料4-3

第8回 高知県庁にて 平成29年5月26日（金）18時30分～20時00分

第9回 高知県庁にて 平成29年12月1日（金）18時30分～20時00分

第10回 高知県庁にて 平成30年3月9日（金）18時30分～19時00分

2 がん専門相談員研修 報告

平成29年度 第1回 高知県がん専門相談員研修 25名参加

（第8回インテンシブコース（在宅がん医療・緩和医療）集中セミナー合同企画）

テーマ：がんになっても仕事を続けられるように！みんなで考えよう！

日時：平成29年11月26日（日）13:00～16:30

会場：ちより街テラス3階 ちよテラホール

講師：高知大学医学部附属病院がん相談支援センター 前田英武

高知産業保健推進センター相談員 槇本宏子

平成29年度 第2回 高知県がん専門相談員研修 5名参加

テーマ：就労支援/両立支援について

日時：平成30年2月17日（土）13:30～15:00

会場：四万十市民病院 会議室

講師：高知大学医学部附属病院がん相談支援センター 前田英武

平成29年度 第3回 高知県がん専門相談員研修 19名参加

テーマ：情報提供の質について考える

日時：平成30年3月10日（土）13:30～16:30

会場：高知大学岡豊キャンパス 看護学科棟多目的室

講師：高知大学医学部附属病院がん相談支援センター 前田英武

3 出張がん相談

1) 図書館との共催によるがん相談会 2017

高知県立図書館・高知市民図書館が合同で行うがん征圧月間に関連する啓発展示の一環として、高知県情報提供・相談支援部会が共催で相談会/講演会を開催した。

がん相談会 相談者7名

日時：2017年10月18日（土） 10:00～～17:00

会場：高知県立図書館 1階展示ブース

参加：高知大学医学部附属病院がん相談支援センター（前田・向田）

高知医療センターがん相談支援センター（下司・西原）

高知赤十字病院がん相談支援センター（古郡）

がん相談支援センターこうち（川澤・尾崎） がん相談員7名が参加

がん講演会 参加者12名

演題：がんになったときに備えて知っておきたいこと

日時：2017年10月18日（土）13:00～14:00

会場：高知県立図書館3階大会議室

講師：高知大学医学部附属病院がん相談支援センター 前田英武

2) リレーフォーライフジャパン2017 高知

がん相談支援センターの広報も兼ねて、相談ブースの出店、リレーウォーク参加、講演イベントへの協力を行った。

がん相談ブース 相談者2名

日時：平成29年11月3日（金）12:00～平成29年11月4日（土）11:30

会場：高知大学医学部グラウンド

参加：当院がん相談支援センター（前田・竹内） 高知赤十字病院がん相談支援センター（古郡）

イベントプログラムへの参加

演題：座談会「がんを治療しながら働くために ～高知県の現状～」

日時：平成29年11月3日（金）15:30～16:30

演者の1人として高知大学医学部附属病院がん相談支援センター 前田が参加。高知産業保健総合支援センターの榎本氏、患者当事者の方とステージにて座談会を行った。医療機関における就労相談取り組みの現状と課題を報告した。

リレーウォークへの参加

がん相談支援センターとして、リレーウォークに参加。人数の関係もあり、24時間たすきを繋ぐことは出来なかったが、可能な限り幟も掲げて歩いた。

4 がん相談件数について 資料 4-4

5 PDCA 実施状況チェックリストについて資料 4-5

がん対策情報センターが提供した「PDCA 実施状況チェックリスト」を平成28年度より県内全てのがん相談支援センターが使用し、各機関、県全体のがん相談支援についての取り組みの評価を開始している。本年度も引き続き同じチェックリストを使用することで、経年変化を確認することが出来たので、それも考慮して本年度総括及び次年度方針を話し合った。

6 本年度総括及び次年度方針

①県内全体の相談内容の集計方法の統一と分析

平成27年度厚生労働科学研究 がん対策における進捗管理指標の策定と計測システムの確立に関する研究班により作成された『相談記録のための基本形式』を用いて、平成29年4月の1ヶ月間について、県内の6箇所のがん相談支援センターが同じ集計方法を行い、県内のがん相談の傾向などを把握した。(別紙資料 4-6) 当初の計画では平成29年10月に再度実施予定であったが、準備不足のため未実施となっている。県内のがん相談の傾向を可視化するために、次年度も同様の取り組みを継続する。

②「公平・中立な相談の場の確保」の具体化

「がん相談の質」向上を目指すため、本年度はPDCA 実施状況チェックリストで課題に挙げた「公平・中立な相談の場の確保」を、研修を通じて具体化することを目標とした。がん対策情報センターが実施しているスキルアップ講習「情報から始まるがん相談」を受講した相談員からの伝達講習を、第3回高知がん専門相談員研修として実施済み。次年度は、がん対策情報センターが提供している「がん相談対応評価表」の活用方法を学ぶ場を設け、自分たちのがん相談実践を可視化できるよう取り組んでいく。

③出張がん相談の機会を増やすことを通じて、がん相談支援センターの広報と、相談できる機会・場所を増やすこと

各がん相談支援センターおよび、情報提供・相談支援部会として出張がん相談に取り組み、実施回数17回(前年度9回)、のべ相談者数47名(前年度38名)と増加した。次年度以降も、オーテピア高知図書館の活用や、リレーフォーライフといったイベントへの参加に取り組んでいく。

④がん対策基本法改正に対する対応(主には就労支援に関する取り組みの検討)

高知労働局主催の「地域両立支援推進チーム」へ高知大学医学部附属病院がん相談支援センターからソーシャルワーカーを構成員として派遣し、情報収集と両立支援におけるサポート体制構築に向けた活動を行った。また、本年度の第1回、第2回のがん相談員研修を「就労支援/両立支援」をテーマに実施した。次年度以降も研修提供や、関係機関との連携を深め、「就労支援/両立支援」に取り組んでいく。

第 8 回 高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会 議事要録

1. 日 時 平成 29 年 5 月 26 日（金） 18 時 30 分～20 時 00 分

2. 場 所 高知県庁 正庁ホール

3. 参 加

高知医療センター：篠田節子、下司静

幡多けんみん病院：角辻知佳香、大家千晶

高知赤十字病院：古郡夏子

国立病院機構高知病院：長浦英世

がん相談支援センターこうち：西森登志子、尾崎雅子、塩見千代子

高知県庁：林奈歩、山崎千夏

高知大学医学部附属病院：前田広道、前田英武

4. 議 題

1) 各機関あいさつ/報告等

高知大学医学部附属病院：前田部会長よりあいさつ

がん相談支援センターの体制変更説明

がん相談支援センターこうち：スピリチュアル研修の案内（資料配付あり）

2) 相談記入シート/がん相談の統計について（資料 1）

- ・統計結果について高知大学より説明実施。
- ・データを取ることの必要性和、その労力を検討した結果、全機関で一致した統計を取ることは継続することとし、半年後（本年 10 月もしくは 11 月）に再度実施することとなった。次回に向け、データ入力方法や、だれの相談を記録するかなど、より詳しいルールを定めることとなった。また、統計データの活用については、各機関へ匿名処理済みの個別相談データをそのまま提供するのか、あくまで加工済みの図表のみを提供するのか、検討を依頼した。
- ・統計については、がん病名別や、支援者の職種、がん相談と各連携室等の本体業務を区別したデータの出し方などを高知大学にて引き続き検討することとなった。
- ・相談記入シートの記載自体が相談員の資質によって差が生じることに指摘があり、その点は研修を通じて検討をしていくこととなった。

3) 次年度研修内容について（資料 2）

- ・本年度も年 2 回の研修を開催すること、各機関から研修担当者を出してもらうことを確認した。指導者研修日本年度高知からエントリーできなかったこと、平成 30 年度以降の指導者研修は研修運営の経験を問われる可能性があることから、研修担当

者の要件として指導者研修修了は問わないことを確認した。

4) 高知県版 PDCA 実施状況チェックリストの報告 (資料 3)

- ・各機関の年度集計結果を報告した。公平性と中立性の設問については、研修を通じて客観性を担保する方向で研修チームでの企画検討を依頼した。

5) 高知県立図書館/高知市民図書館より、次年度の「がん相談会」協力の申し入れあり。

3/23 (木) 14:30～高知大学医学部附属病院にて打ち合わせ実施

(参加：高知県立図書館担当者・高知市民図書館担当者・前田)

県立図書館・高知市民図書館としては前回同様で相談会を実施したいとのこと。

また、集客を確保するためにも、相談会前にミニ講座といったものも企画したいとのこと。前回の反省から、早めに候補日を決め、広報も力を入れたいとのこと。

候補日：10月28日(土)か29日(日)のいずれか

会場：県立図書館のイベントブースか、高知県立大学永国寺キャンパス

↓

上記提案については各機関了承された。

引き続き事務局にて検討を進め、メールにて報告することとなった。

6) その他

- ・都道府県情報提供・相談支援部会 2017/7/12 (水)

医大より小林 Dr、前田 Dr、前田 SW 出席予定

- ・次回の予定 平成 29 年 12 月 1 日 (金) 18:30～

第9回 高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会 議事要録

1. 日 時 平成 29 年 12 月 1 日（金） 18 時 30 分～20 時 00 分
2. 場 所 高知県庁 地下 第 3 会議室
3. 出 席 高知大学医学部附属病院：前田英武
高知医療センター：篠田節子、下司静、西原梓
幡多けんみん病院：角辻知佳香、大家千晶
高知赤十字病院：古郡夏子
国立病院機構高知病院：長浦英世
がん相談支援センターこうち：西森登志子、尾崎雅子、塩見千代子
高知県庁：山崎千夏
高知大学医学部附属病院：前田英武
4. 議 題
 - 1) 各機関あいさつ/報告等
 - ・高知大学医学部附属病院より、日本癌治療学会 認定がん医療ネットワークナビゲーターの認定見学施設になったことが報告された。
 - 2) 都道府県情報提供・相談支援部会 2017/7/12 の報告（資料 1）
 - ・別紙資料を参照のこと
 - ・がん対策基本法の改正を受け、拠点病院の要件やがん相談支援センターの要件が見直される可能性があり、部会としても動向を注視していくこととした。
 - 3) 県立図書館がん相談会/講演会の報告（資料 2）
 - ・別紙資料を参照のこと
 - ・次年度以降はオーテピアでの開催を検討しており、引き続き県立図書館と協力し、「出張がん相談」や「講演会」を実施していくことを確認した。
 - 4) リレーフォーライフ参加報告（資料 3）
 - ・別紙資料を参照のこと
 - ・次年度も高知大学のグラウンドにて開催される見通しであり、引き続き部会として参加することを確認した。
 - 5) 両立支援チームの報告（資料 4）
 - ・別紙資料を参照のこと
 - ・就労支援や両立支援については基本法改正でも新たな取り組みとしてクローズアッ

プされており、部会としても研修企画に盛り込むなど、体制を整えていくことを確認した。

6) 平成 29 年度 第 1 回がん相談員研修の報告 (資料 5)

- ・別紙資料を参照のこと

7) 平成 29 年度 第 2 回及び第 3 回研修会について (資料 6)

- ・別紙資料を参照のこと

8) PDCA サイクルチェックシートの締切について

2017/4/1～2018/1/31 : 協議会報告用 2018/2/9 締切

2017/4/1～2018/3/31 : 年度集計用 2018/4/13 締切

- ・次回の予定 2018/3/9 (金) 18:30～

次々回の予定 2018/6/1 (金) 18:30～ (情報提供・相談支援部会 2018/5/24)

第 10 回 高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会 議事要録

1. 日 時 平成 30 年 3 月 9 日（金） 18 時 30 分～19 時 00 分
10 日（土） 16 時 30 分～17 時 00 分
2. 場 所 高知県庁 地下 第 3 会議室/高知大学医学部附属病院
3. 出 席
高知医療センター：下司静、西原梓
幡多けんみん病院：角辻知佳香、大家千晶
高知赤十字病院：古郡夏子
がん相談支援センターこうち：安岡佑莉子、西森登志子、尾崎雅子、川澤成子
高知県庁：林奈歩
高知大学医学部附属病院：前田英武、向田好美

4. 議題

1) 各機関あいさつ/報告等

医大：平成 30 年診療報酬改定での「がんと両立支援の加算」について情報提供
医療センター：篠田氏の退職と次年度の人事について

2) 平成 29 年度 第 2 回研修会について（報告）

日時：平成 30 年 2 月 17 日（土）13:30～15:00
会場：四万十市民病院（会議室）
内容：「就労支援/両立支援について」
参加者：5 名

次年度も引き続き就労/両立支援に関する研修会を継続する。障害年金などの活用できる制度の研修を検討していく。

3) がん診療連携拠点病院等の指定要件の動き（報告）

平成 30 年 7 月頃 改定した要件の通知
平成 31 年 2 月頃 新たな要件の下での指定に関する検討会開催

看護師と社会福祉士の両職種の配置などが要件に入るかどうかはまだ未確認。
実際に影響が出るのは、平成 31 年度以降の見通し

4) 四国ブロック地域相談支援フォーラム

開催予定日：2019年2月9日（土曜日）10時～17時頃を予定（受付9時30分～）

場所：香川大学医学部附属病院

フォーラムへのがん相談員の出席だけでなく、企画、運営についても香川県から協力依頼が来る予定。主には都道府県拠点にて対応するが、内容によって各がん相談支援センターにも協力を要することがある。

5) オータピアの活用について

がん相談会/がん講演会/サロン 等の利用について

オータピア側から、利用の可能性について健康対策課へ照会あり。オータピアの見学も行いつつ、次年度中にどのような形で活用するのか、部会で検討を行う。

6) 次年度のがん相談員研修について

相談の質（QA）研修

国がんへ講師派遣依頼済み

四国の拠点病院は参加を認める方向

開催時期 平成30年11月～12月初め

2018/3/10開催のがん相談員研修の続編となる内容。都道府県拠点が窓口となって対応するが、当日の運営やファシリテーターとしての協力を各がん相談支援センターに行う可能性あり。

7) 年度活動の振り返りと次年度の活動について

① 県内全体の相談内容の集計方法の統一と分析

平成27年度厚生労働科学研究 がん対策における進捗管理指標の策定と計測システムの確立に関する研究班により作成された『相談記録のための基本形式』を用いて、平成29年4月の1ヶ月間について、県内の6箇所のがん相談支援センターが同じ集計方法を行い、県内のがん相談の傾向などを分析した。当初の計画では平成29年10月に再度実施予定であったが、準備不足のため未実施となっている。県内のがん相談の傾向を可視化するために、次年度も同様の取り組みを継続する。

②「公平・中立な相談の場の確保」の具体化

「がん相談の質」向上を目指すため、本年度はPDCA 実施状況チェックリストで課題に挙げた「公平・中立な相談の場の確保」を、研修を通じて具体化することを目標とした。がん対策情報センターが実施しているスキルアップ講習「情報から始まるがん相談」を受講した相談員からの伝達講習を、第3回高知がん専門相談員研修として実施済み。次年度は、がん対策情報センターが提供している「がん相談対応評価表」の活用方法を学ぶ場を設け、自分たちのがん相談実践を可視化できるよう取り組んでいく。

③出張がん相談の機会を増やすことを通じて、がん相談支援センターの広報と、相談できる機会・場所を増やすこと

各がん相談支援センターおよび、情報提供・相談支援部会として出張がん相談に取り組み、実施回数17回（前年度9回）、のべ相談者数47名（前年度38名）と増加した。次年度以降も、オーテピア高知図書館の活用や、リレーフォーライフといったイベントへの参加に取り組んでいく。

④がん対策基本法改正に対する対応（主には就労支援に関する取り組みの検討）

高知労働局主催の「地域両立支援推進チーム」へ高知大学医学部附属病院がん相談支援センターからソーシャルワーカーを構成員として派遣し、情報収集と両立支援におけるサポート体制構築に向けた活動を行った。また、本年度の第1回、第2回のがん相談員研修を「就労支援/両立支援」をテーマに実施した。次年度以降も研修提供や、関係機関との連携を深め、「就労支援/両立支援」に取り組んでいく。

8) その他

- ・PDCA サイクルチェックシートの締切について

2017/4/1～2018/3/31 : 年度集計用 2018/4/13 締切

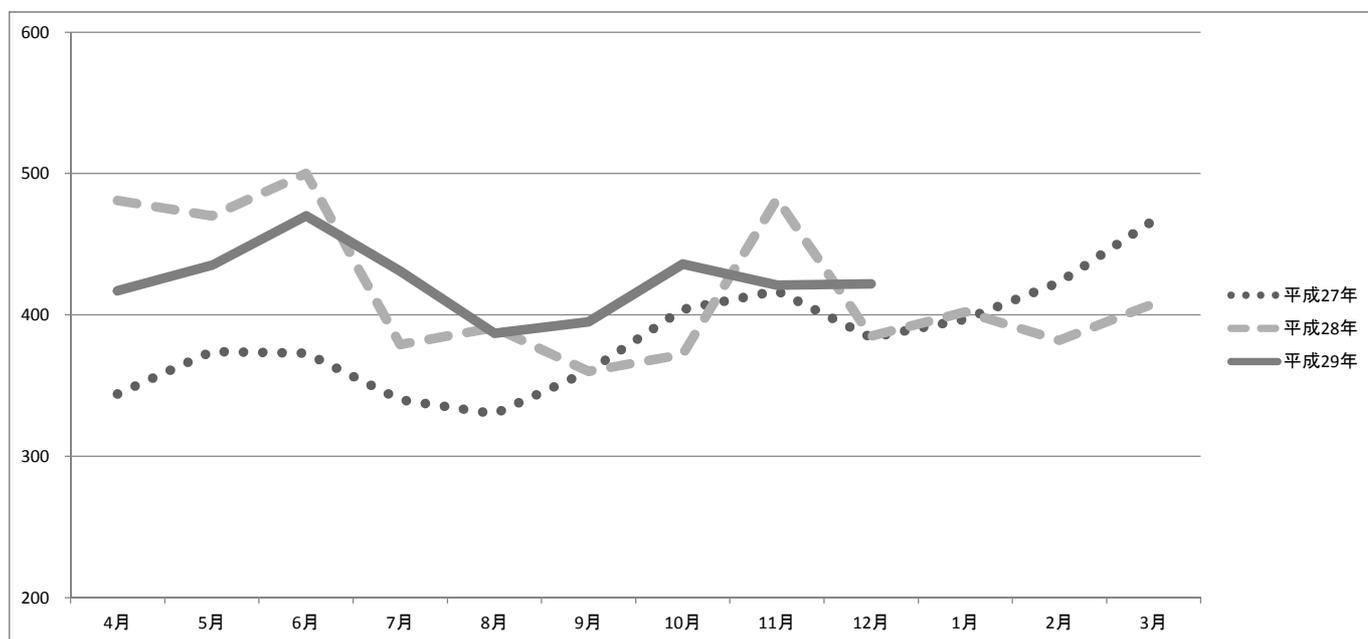
- ・部会員の交代等について

平成30年4月中に交代がある場合は医大までご連絡ください

- ・次回の予定 2018/6/1（金）18:30～（情報提供・相談支援部会 2018/5/24）

平成29年度がん相談窓口利用状況一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		高知大学医学部 附属病院	面談相談件数	55件	55件	61件	55件	40件	42件	53件	58件	36件		
	電話相談件数	27件	31件	34件	19件	40件	36件	39件	26件	27件				279件
	その他相談件数	4件	4件	1件	1件	6件	4件	5件	3件	6件				34件
	合計	86件	90件	96件	75件	86件	82件	97件	87件	69件	0件	0件	0件	768件
センター 高知医療	面談相談件数	58件	57件	68件	52件	44件	51件	50件	63件	42件				485件
	電話相談件数	43件	32件	33件	30件	26件	24件	20件	17件	21件				246件
	その他相談件数	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件				3件
	合計	101件	90件	101件	82件	70件	75件	70件	80件	65件	0件	0件	0件	734件
幡多けんみん 病院	面談相談件数	20件	34件	30件	43件	33件	59件	46件	45件	39件				349件
	電話相談件数	10件	15件	16件	7件	9件	12件	12件	22件	9件				112件
	その他相談件数	4件	10件	8件	8件	1件	7件	5件	0件	3件				46件
	合計	34件	59件	54件	58件	43件	78件	63件	67件	51件	0件	0件	0件	507件
高知赤十字 病院	面談相談件数	43件	31件	33件	28件	28件	28件	52件	49件	66件				358件
	電話相談件数	28件	20件	11件	10件	8件	6件	9件	5件	16件				113件
	その他相談件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件				0件
	合計	71件	51件	44件	38件	36件	34件	61件	54件	82件	0件	0件	0件	471件
国立高知病院	面談相談件数	56件	73件	69件	82件	63件	49件	54件	46件	65件				557件
	電話相談件数	2件	9件	21件	28件	19件	8件	10件	11件	6件				114件
	その他相談件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件				0件
	合計	58件	82件	90件	110件	82件	57件	64件	57件	71件	0件	0件	0件	671件
がん相談センター こうち	面談相談件数	27件	28件	29件	30件	38件	30件	28件	34件	41件				285件
	電話相談件数	32件	25件	52件	22件	26件	35件	51件	42件	38件				323件
	その他相談件数	8件	10件	11件	8件	6件	4件	2件	0件	5件				54件
	合計	67件	63件	92件	60件	70件	69件	81件	76件	84件	0件	0件	0件	662件
合計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		417件	435件	477件	423件	387件	395件	436件	421件	422件	0件	0件	0件	3,813件



アウトカム			プロセス						
患者や家族及び市民			がん相談支援センター						
最終目標	準最終目標	必要な条件	必要な条件・状態	実施状況：平成29年4月1日～平成30年3月31日と前年度同期間を比較		()が前年度実績			
・頼りにできる人・相談の場がある(寄り添う)	患者が孤立しない	相談の場があると人が増える 相談支援センターの役割を知っている人が増える	その人にとってわかりやすい相談場所・相談の入り口がある 多様な相談先がある 複数の相談場所がある	1	・センター外で出張がん相談を行った	総実施回数	19(9)↑ 回	のべ相談者数	49(38)↑ 人
				2	・がんサロンの運営	総実施回数	156(96)↑ 回	のべ相談者数	840(528)↑ 人
				3	・がん相談支援センターの案内を院内で配布している(カード、ちらし)	設置箇所数	32(34)↓ 箇所	毎月チェックしたか	○ × 4(4) 2(2)
				4	・ホームページへ案内を掲載した	年1回以上、内容を更新したか	○ × 6(6) 0(0)		
				5	院内掲示板にがん相談支援センターの案内を掲示した	ポスターやモニターでの放映など、院内の設置箇所数	44(43)↑ 箇所		
				6	・患者会の運営支援を行った(具体的な支援内容：チラシ配布、運営会への参加など)を回数と共に記載	具体的な内容を記載：	○ × 5(5) 1(1)		
・困っている患者・家族が減る	・患者が自分らしい生活ができるよう問題の解決ができる	(がん罹患後の)生活の見通しが立つ	相談対応の質が担保されている ・(相談員が)相談者のがんや状況の理解を助けることができる ・(相談員が)相談者に適切な情報や支援を通じてエンパワメントすることができる 相談対応の質が担保されている	7	・相談員研修を受けた	相談員研修1・2受講済	27(24)↑ 名 (うち本年度受講者数)	1(4)↓ 名	
				相談員研修3受講済	19(17)↑ 名 (うち本年度受講者数)	3(2)↑ 名			
				指導者研修受講済	6(6) 名 (うち本年度受講者数)	0(0) 名			
				フォローアップ研修受講済	2(17)↓ 名 (うち本年度受講者数)	1(2)↓ 名			
				指導者等研修受講済	1(1) 名 (うち本年度受講者数)	0(1)↓ 名			
				継続研修認定習得コース受講済	2(2) 名 (うち本年度受講者数)	0(1)↓ 名			
	8	・事例検討会を行った(各センター内/県内)	各センター内	43(4)↑ 回	のべ参加者数	242(124)↑ 名			
	9	【高知大学のみ】 ・相談員研修を年2回提供した	県内	0(0) 回	のべ参加者数	0(0) 名			
	10	・課題の共有や解決法の共有を行った(各センター内/県内)	1回目	日時	参加者数	25(28)↓ 名			
	2回目	日時	参加者数	5(19)↓ 名					
	3回目	日時	参加者数	17 名					
	11	・共有された課題や解決法について病院幹部、県部会、都道府県協議会へ報告した	各センター内会議回数	28(28) 回	のべ参加者数	50(136)↓ 名			
12	科学的根拠に基づく信頼できる情報が提供できる ・科学的根拠に基づく信頼できる情報が提供できる ・理解を促進する説明ができる ・医師や看護師等へ理解を促進するような橋渡しができる	部会回数(チーム活動含む)	6(5)↑ 回	のべ参加者数	36(28)↑ 名				
・患者中心の(その人なりの)意志決定が可能になる	医療者とのコミュニケーションがうまくいく	医療連携が円滑に行われている	7"	・相談員研修を受けた	各センターにて部会議事録等が組織内で報告等されているか、また県部会に各センターから課題等の報告が挙がっているかで評価する	○ × 5(3)↑ 0(2)↓			
			8"	・事例検討会を行った(各センター内/県内)	再掲	○ ×			
			9"	【高知大学のみ】 ・相談員研修を年2回提供した	○ × 6(6) 0(0)				
			13	すべての利用者に対して公平に対応した	がん相談支援センターとして当然のことではあるが、こうした対応を取ることに ついて各センターにおいて記録等からもチェックを行って評価をする	○ × 5(3)↑ 1(3)↓			
			14	・中立的な姿勢ですべての相談者に向き合った	がん相談支援センターとして当然のことではあるが、こうした対応を取ることに ついて各センターにおいて記録等からもチェックを行って評価をする	○ × 4(3)↑ 2(3)↓			
			15	・個人情報の取り扱いについてセンター内で定めた	がん相談支援センター、あるいは所属機関として明文化されたものがあるかどうかを確認する。部会等で相互に確認を行う	○ × 6(4)↑ 0(0)			
・(患者・家族・市民から見て)適切に対応できる医療者が増える	十分な説明、必要な情報を得られる 患者・家族が適切に相談窓口に行き着ける。また、そのための流れや体制がある(院内・院外・地域から)	個人情報は保護され、適切に扱われる体制がある	16	・センター内で定めた個人情報の取り扱いを遵守した	記録の保管方法など、部会等で相互に確認を行う	○ × 5(4)↑ 1(1)			
			17	各センターの相談内容の分析等を行い、改善しうる課題等について部会で検討を行い、病院幹部、県部会、都道府県協議会へ報告した	各センターにて相談内容等の分析を行い、病院幹部、部会へ報告する。	○ × 5(2)↑ 0(2)↓			
			部会にて相談内容等の分析を行い、評議会へ報告する。	○ × 1(0)↑ 4(5)↓					
(がんになっても)安心して暮らせる	・社会に、がんに対する対応力が醸成される	社会的な支えが感じられる 地域のネットワークの構築	広報活動が行われている 地域に相談支援センターの周知が定期的に行われている	18	・広報活動を行ったか(イベントの広報誌、メディア等への掲載依頼、各種イベント等での宣伝物の配布、病院誌等への掲載等)	具体的な内容を記載：	○ × 6(6) 0(0)		
				19	・協議会や部会へ参加した	部会回数(チーム活動含む)	43(17)↑ 回	のべ参加者数	80(79)↓ 名
		情報啓発の場が確保される	がん対策や治療に関わる新しい情報の発信ができる			協議会回数(部会長/代理等の参加について)高知大学のみ	1(1) 回	3(2)↑ 名	

県内6箇所のがん相談支援センターのがん相談統計(平成29年4月分)

※平成29年5月末時点での集計のため、最終報告数とは誤差が生じる可能性あり

件数	377
----	-----

所要時間	22.69
一番長い時間	90
一番短い時間	0

対応場所	院内	319
	院外	0

対応方法	対面相談	241
	電話相談	128
	FAX相談	0
	E-mail相談	8
	その他	0

対応者	専従(8割以上)	171
	専任(5割以上8割未満)	8
	兼任(5割未満)	82

相談者	患者のみ	143
	患者とその付添い	95
	患者以外の方のみ	138

利用回数	初めて	178
	2回目以上	194
	不明	5

担当者紹介	あり	164
	なし	213

情報入手経路	担当医	148
	不明	86
	その他医療・福祉関係者	67
	その他	43
	家族・友人・知人	18
	インターネット	11
	同病者やその家族・患者会	9
パンフレット	7	

患者以外主たる相談者カテゴリー	家族・親戚	235
	友人・知人	5
	一般	2
	医療関係者(院内)	21
	医療関係者(院外)	13
	不明	33
	その他	7

患者以外主たる相談者年齢	20歳未満	0
	20歳	1
	30歳	11
	40歳	27
	50歳	39
	60歳	25
	70歳	19
	80歳以上	1
	不明	181

患者以外相談者性別	男	83
	女	175
	不明	57

患者本人年齢	20歳未満	3
	20歳	6
	30歳	5
	40歳	32
	50歳	32
	60歳	94
	70歳	120
	80歳以上	4
不明	16	

患者性別	男	175
	女	200
	不明	2

患者の受診状況	自施設入院中	134
	自施設通院中	135
	他施設入院中	15
	他施設通院中	79
	受診医療機関なし	0
	不明	4
その他	9	

現在の治療状況	診断なし(精査中含む)	6
	治療前(診断後精査中含む)	53
	治療中	186
	治療後(概ね治療3ヵ月未満)	26
	経過観察中(概ね治療3ヵ月以降)	33
	緩和ケアのみ	50
	不明	10
その他	13	

がんの状況	初発	108
	再発・転移	185
	不明	46
	その他	8

がん部位	肺	75
	膵	41
	卵巣・膣・外陰部	37
	胃	34
	大腸	30
	乳房	28
	耳鼻咽喉・口腔	26
	血液・リンパ	23
	肝・胆	15
	腎・尿管・膀胱	12
	原発不明	12
	前立腺	11
	食道	10
	縦隔・心臓	10
	子宮	9
	骨・軟部組織	9
	不明	8
	皮膚	5
	小腸・肛門	4
	後腹膜・腹膜	3
	眼・脳・神経	2
	甲状腺	2
その他	2	
精巣	1	
副腎	0	
中皮腫	0	

※の項目は国立高知病院は含まず。

相談内容	ホスピス・緩和ケア	90
	不安・精神的苦痛	80
	がんの治療	70
	転院	57
	症状・副作用・後遺症	52
	介護・看護・養育	41
	医療機関の紹介	36
	医療費・生活費・社会保障制度	35
	受診方法・入院	33
	在宅医療	25
	食事・服薬・入院・運動・外出など	23
	生きがい・価値観	23
	医療者との関係・コミュニケーション	20
	患者-家族間の関係・コミュニケーション	19
	セカンドオピニオン(他へ紹介)	15
	その他	13
	告知	8
	がんの検査	7
	セカンドオピニオン(一般)	3
	社会生活(仕事・就労・学業)	3
	セカンドオピニオン(受入)	2
	友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション	2
	患者会・家族会(ピア情報)	2
	治療実績	1
臨床試験・先進医療	1	
補完代替療法	1	
がん予防・検診	0	
不明	0	

対応内容	傾聴・語りの促進・支持的な対応	238
	情報提供	177
	助言・提案	146
	他施設への連携	85
	自施設他部門への連携	65
	他施設受診の説明	35
	その他	10
	自施設受診の説明	6
	判断不明	1
	ピアサポート機能紹介	0

相談者からの反応	1.よい反応だった	242
	2.特に反応はなかった	43
	3.悪い反応があった	0
	88.判断不明	34
	99.その他	0

加算の有無	退院支援加算 あり	17
	退院支援加算 なし	159
	その他の診療報酬の算定 あり	2
	その他の診療報酬の算定 なし	164